

令和 2(2020) 年度 資源評価調査報告書

種名	コウイカ	対象水域	唐津湾
担当機関名	水産研究・教育機構 水産資源研究所 水産資源研究センター	参画機関名	佐賀県玄海水産振興センター
		協力機関名	福岡県水産海洋技術センター

1. 調査の概要

・漁業の概要に関する調査

唐津湾関係漁協から仕切り書データ（2020年1～12月）を収集、整理し、聞き取り調査等を実施して、漁場や漁獲量等の漁業実態調査を行った。

・生物学的特性に関する調査

唐津湾内で漁獲されたコウイカを購入、精密測定を実施し、生物学的特性に関する調査を行った。

・資源状態に関する調査

漁期終了後、佐賀・福岡両県の唐津湾関係漁協仕切り書データを集計、整理し、資源動向ならびに資源状態に関する調査を行った。

2. 漁業の概要

唐津湾はコウイカ漁の重要な漁場となっており、佐賀県と福岡県の漁業者は様々な漁業種類によってコウイカを漁獲している。

2020年における唐津湾全体（佐賀・福岡2県）の年間漁獲量は12.7t、そのうち、いかかご漁業による漁獲量は8.0tで、唐津湾全体（佐賀・福岡2県）の年間漁獲量の62.9%を占めた（表1）。

このうち、佐賀県では、主に小型底びき網漁業、小型定置網漁業、いかかご漁業で佐賀県の年間漁獲の70.6%、3.4tのコウイカを漁獲もしくは混獲している（表2）。

また、福岡県ではコウイカを漁獲する主な漁業種類は、いかかご漁業であり（主漁期2～4月）、2020年は7.4tと、福岡県の年間漁獲量の95.0%を占めた。その他の漁業種類では、小型底びき網漁業（操業期間5～12月）、さし網漁業、小型定置網漁業等で漁獲もしくは混獲された（表3）。なお、仕切り書データには反映されていない直販等の流通量把握にも努めたが、解明には至らなかった。

3. 生物学的特性

イカ類の寿命は、基本的に単年であり、コウイカも同様である。

唐津湾で漁獲された佐賀・福岡2県のコウイカについて、漁獲物組成を整理した（図1）。佐賀県では、4月に外套背長13～15cm、5月には15～16cmの大型個体が漁獲されたのち、11月には11～13cmの小型個体が漁獲の主体となった。福岡県では、2月に外套背長15～17cm、3月に14～18cmを主体とした大型個体が漁獲されたのち、9月には10～11cm、10月および11月には10cm、12月には11～12cmの小型個体が漁獲の主体となった。雌雄別外套背長をみると、雄は12～22cm、雌は11～20cmであり、雌雄による差がみられた。

生殖腺指数（GSI）は、雌雄とも2～5月および11月以降に高い値を示す個体で主体となった。漁場においても、2～5月頃に卵塊が多く付着、確認されることから産卵は2～5月頃まで続いているものと考えられる（図2）。

4. 資源状態

佐賀県海域における2020年の漁獲量は5t、前年比75%、過去5カ年比89%であった(図3)。同じく、福岡県海域での漁獲量は8t、前年比36%、過去5カ年比32%であった(図3)。

唐津湾における1977年以降の長期データを有し、かつ湾内漁獲量の81%(過去5年平均)を占める福岡県海域の漁獲量によると、漁獲量が突出した1991年、1992年を除いた過去最高値(1984年:234t)と最低値(2020年:8t)の差を3等分(高位と中位の境界値:165tおよび中位と低位の境界値:89t)とする基準に照らした場合、2007年から現在まで資源状態は「低位」で推移しており、過去5年間の変動傾向に基づくと資源動向は「横ばい傾向」と判断された。

5. 資源回復に関するコメント

唐津湾におけるコウイカは、冬期の数少ない漁獲物のひとつであり、重要な魚種である。コウイカの漁獲量は、増減を繰り返してきた経緯があり、コウイカの移動生態や漁獲情報、操業、海洋環境等、様々な情報を可能な限り収集し、整理、検討を行い、参画機関の共同調査やデータ協力等を得ながら、コウイカ資源を回復させる有効な手法を検討していく必要がある。

表1 2020年唐津湾全体(佐賀・福岡2県)におけるコウイカ漁獲量(単位:kg)

漁業種類	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	総計
いかかご	0	1,696	4,000	1,891	364	20	0	0	0	0	0	0	7,971
さし網	4	76	56	67	85	54	0	0	0	0	0	0	342
小型定置網	32	196	251	320	192	20	0	4	36	32	32	68	1,183
小型底びき網	40	4	4	136	407	112	4	12	52	461	668	17	1,916
その他	8	120	360	40	52	24	0	4	132	72	16	428	1,256
総計	84	2,092	4,671	2,454	1,100	230	4	20	220	565	716	513	12,667

表2 2020年佐賀県唐津湾におけるコウイカ漁獲量(単位:kg)

漁業種類	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	総計
いかかご	0	16	92	408	12	0	0	0	0	0	0	0	528
さし網	0	64	44	44	32	16	0	0	0	0	0	0	200
小型定置網	32	176	224	296	192	20	0	4	36	32	32	68	1,112
小型底びき網	40	4	4	136	352	108	4	4	40	416	632	8	1,748
その他	8	120	360	40	44	8	0	4	132	68	8	420	1,212
総計	80	380	724	924	632	152	4	12	208	516	672	496	4,800

表3 2020年福岡県唐津湾におけるコウイカ漁獲量(単位:kg)

漁業種類	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	総計
いかかご	0	1,680	3,908	1,483	352	20	0	0	0	0	0	0	7,443
さし網	4	12	12	23	53	38	0	0	0	0	0	0	142
小型定置網	0	20	27	24	0	0	0	0	0	0	0	0	71
小型底びき網	0	0	0	0	55	4	0	8	12	45	36	9	168
その他	0	0	0	0	8	16	0	0	0	4	8	8	44
総計	4	1,712	3,947	1,530	468	78	0	8	12	49	44	17	7,867

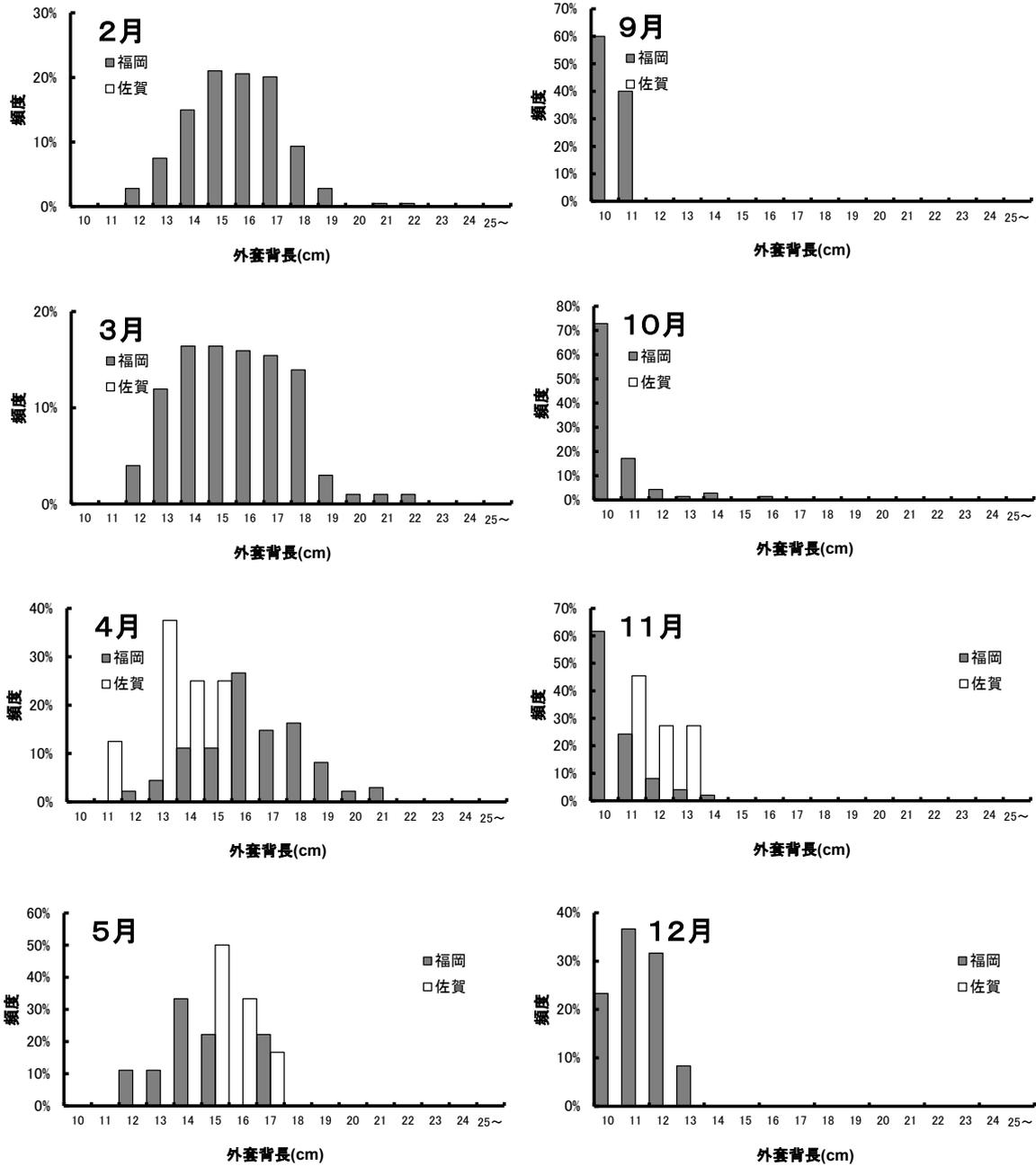


図1 唐津湾における県別コウイカ外套背長の推移

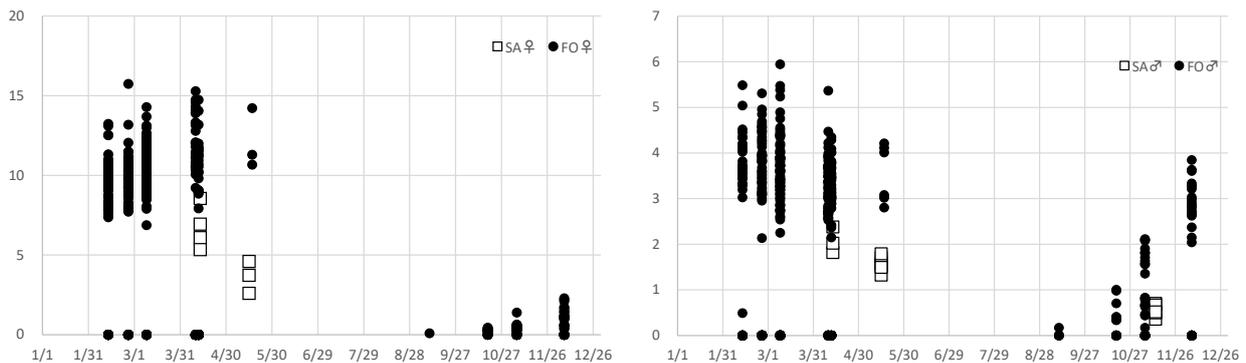


図2 唐津湾における県別雌雄別コウイカ生殖腺重量の推移

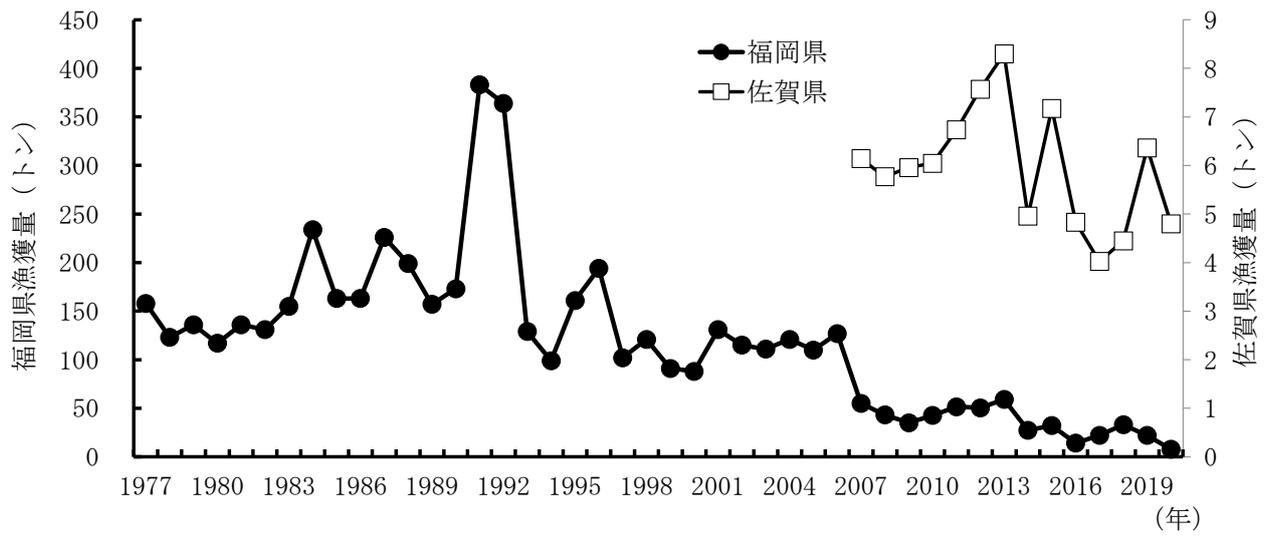


図3 唐津湾における県別コウイカ漁獲量の推移(全漁業種)